

## 「久保修 紙のジャポニスム 切り絵展」ワークショップ

(2015年10月7日 於：ウシュック大学芸術学部 30名)

(2015年10月8日 於：ペラ芸術高校 35名)

「久保修 紙のジャポニスム 切り絵展」(10月6日～18日、於：ベイオール市芸術ギャラリー)の開催にあわせ、切り絵作家の久保修氏を日本より招へいし、ウシュック大学芸術学部及びペラ芸術高校にてワークショップを行いました。始めに久保氏の切り絵制作風景の映像を鑑賞し、切り絵の制作工程や日本の和紙の説明を受けた後、学生達は久保氏がデザインした下絵から好みのデザインを選び、実際に紙とカッターを手に、切り絵の制作を体験しました。

学生達は皆一心に制作に取り組み、6種類の下絵の全てを使って作品を完成させた学生や、オリジナルデザインで作品を作った学生、また、切り絵の楽しさに魅了され、今後トルコにある材料を利用して切り絵を続けたいと感想を述べる学生もいました。最初は見学をしていた学校の先生方も飛び入り参加し、学生と共に熱心に切り絵を制作する姿もみられました。

「久保修 紙のジャポニスム 切り絵展」は、日本とトルコの友好関係の原点となったエルトゥールル号の遭難事故125周年記念行事の一環として、10月18日までベイオール市芸術ギャラリーで開かれています。皆様のお越しをお待ちしております。



熱心に制作に取り組むウシュック大学芸術学部の学生



久保氏と完成した作品を手に笑顔で記念撮



ペラ芸術高校でのワークショップの様子



オリジナル作品を披露する女子学生